

平成30年11月13日

平成30年度相談役・役員20名 各位
⑤ 委員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 中村 一雄
TEL 72-5644

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

12月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

ご多忙のところ、万障繰合わせの上ご出席の程、よろしく申し上げます。

日 時：平成30年12月2日（日） 10：00～12：00

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

＜ 議 題 ＞

報 告

- (1) 10/7(日)「10月度役員会」「校区福祉ネットワーク会議」議事録について (書記)
資料 1～3 / 15頁
- (2) 10/7(日)「まちづくり計画見直し 福祉部分」次第 (社協)
資料 4 / 15頁
- (3) 9/12(水)「第5・6回まちづくり協議会代表者交流会」報告について (会長)
資料 5～13 / 15頁
- (4) 11/14(水)「第7回まちづくり協議会代表者交流会」次第について (会長)
資料 14 / 15頁
- (5) 11/16(金)「平成30年度宝塚市総合防災訓練実施」について (活動支援局長)
- (6) 12/12(水)「まち協代表者交流会」ワークショップについて (事務局長)
- (7) 12/8(土)「第2地区人権問題に関する研修会」落語、和久講師について (活動支援局長)
資料 15 / 15頁
- (8) 12/23(日・祝)「第14回宝塚ハーフマラソン大会」従事ボランティアについて (会長)
- (9) 1/1付発行の「ゆずり葉だより」新春第94号について (事務局長)
引き取り⇒12/23(日)午後2～3時……(12/12(水)午前には納入しています)

議 案

- (1) すみれ防災スピーカーの整備(逆小)について (総合防災課)
- (2) 逆小「地域ごとのまちづくり計画見直し(原案)」について (会長)
別冊参考資料 1～21 / 21頁
- (3) 平成31年度会長の選出について (会長)

その他事項について

以 上

平成30年10月7日
逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 中村 一雄
書記 高崎 恒子

「平成30年10月度定時役員会」
逆小校区「福祉ネットワーク会議」 議事録

日 時 平成30年10月7日（日）
逆小校区「福祉ネットワーク会議」の開催 13:30～15:25
ゆずり葉コミュニティ「10月度役員会」の開催 15:30～16:20

場 所 ゆずり葉コミュニティルーム

出席者 議決権者 : 中村、石谷、古泉、濱崎、柳瀬、湯浅、外山、梅原(誠)、梅原(道)、光村、大森、岩崎、沖田、大久保、源島
非議決権者 : 井篁、高崎、山川、北川、篠原、小笠原
ゆずりは会 : 齋藤、藤本、吉竹、中井
民生児童委員 : 小橋、戸田、小島、長谷川、菅原、石谷
行 政 : 高木(逆小校長)、山下(市民生活室長)、藤田(市民協働推進課)、中谷(高齢福祉課)、北村(生活援護課)
コンサルタント : 大森所長
福祉事業者 : 中原(逆瀬川包括所長)、赤井(栄光園園長)、長井(デイ所長)
社 協 : 大関

(合計41名)

《 議 題 》

■「福祉ネットワーク会議」が別紙資料を配布して開催された。

別紙資料：「広報たからづか8月号2頁」「社協逆小校区福祉ネットワーク会議レジメ」
「ゆずり葉だより93号・92号・88号」をもって中村会長と大関社協担当
が説明し議論を進めた。

意見交換の要点：

- ・担当エリア、6名程災害時要援護者がおられるが、ほとんどの方が、家族のいる方だった。
- ・老人会、福祉活動員会、自治会の3団体で常に連携している。
- ・自治会館では27のグループが様々な活動をしている。坂を下りていかななくても、自治会館でいろいろな活動に参加でき、元気に生活を送れる。
- ・バスツアーに参加し、そこで情報を知り、別の活動に参加するきっかけになっている。知ることからつながる。つながることで、地域の見守り力が高まる。
- ・今まで地域の事を知らなかったが、民生委員となって、知るきっかけになった。アヴェルデでは、色々な活動をしている。出て来ない人にどのようにしていけばよいか？

- 民生委員の活動で、一人暮らしのご高齢の方を訪問している。気になる方は、出て来られない。自分は大丈夫という意識があるからなのか、SOS を発信してほしい。
- 単身で親の介護をしていると先のことをどのように心構えしていくのか？災害時やなにかあった時に。
- 40代、50代で、仕事をしていると地域とのつながりを実感できない。きっかけが難しい。
- 今、子育て中のお母さんたちは、子育て、仕事、介護も始まる、地域活動、PTA 活動などいろいろとある。PTA は学校と地域の橋渡しだと思う。
- 子どもたちの遊び場が地域にない。公園は、ボール遊び等制限がある。
- これから育っていく子どもたちの意見を聞いてほしい。
- 公園の事で市へ相談すると、住民の協力が必要であると言われ、反対が一人でもいるとできない。
- グリーンハイツ、今年の小学校新入生がゼロ。マンション内の新陳代謝ができていない。新しいマンションができると移ってしまう。空き家が増えている。
- 5年生37名、次の1年制も36名で1クラスになる。クラス数が減ると先生の数も減る。転入生を増やしたい。いろいろな環境教育、英語、福祉教育をやっている。コミュニティスクールを進めていければと思っている。来年度以降取り組みを進めていきたい。
- 小学校の放課後遊ぼう会が見守りボランティアを募集しているので、協力いただければ。
- 買い物に行くのがしんどいという声もある。
- 長期的な計画が必要。その下に具体的なことが入っていく。行政とリスクシェアしていく。長期的な話とすぐやっていくこと。意識改革が必要。個人情報壁になっている。要援護者の取り組みでもいろんな意見がある。やれることをやっていく。
- 考える場所が必要だと思っている。住民さんの考えを言うていく必要がある。マンション群でワークショップをやっている。入れ代わり立ち代わり来られている。見守り防災、居場所づくりサロンやクラブ活動が32ある。意識改革になっている。見守り担当者会を始めた。各マンションでいろいろな工夫をされている。
- 小学校の活性化がまちの活性化につながっていく。
- この地域はやっと世代の入れ替わりが始まっている。
- 空き家対策
- 交通の便を良くする、地域の特色を出すことが必要ではないか？
- 校区の変更は、長いスパンで見えていく必要があるのではないか？スクールバスを走らせないか。
- 学校の統廃合は難しいのでは。
- 空き家になっている1番の原因は何か？空き家を売ってくれたらいい？
- 教育環境、自然環境をPRしていくことで子どもも増えていくのではないか。

■「平成30年10月度定時役員会」の開催。

報 告

(1) 8/5(日)、8月度役員会議事録について

中村会長から、上記議事録について資料1～2/29頁に記載の通りであり、説明は省略したい旨申し出がありこれを了承。

(2) 7/11(水)、「第4回まちづくり協議会代表者交流会」報告について

- 中村会長から、資料3～5／29頁で説明があり、これを了承。
- (3) 土砂災害特別警戒区域等のための現地踏査について
古泉活動支援局長から説明があり、これを了承。
- (4) 「まちづくり計画見直し地域カルテ」について
OMコンサル大森所長から資料6～20／29頁にもとずいて説明し了承。
- (5) まちづくり協議会意思決定に関するアンケートについて
中村会長から資料21／29頁は26年に行政に提出したもので、ゆずり葉コミュニティの民主的な主体的活動の再認識する説明がありこれを了承。
- (6) 9/16(日)、エデンに隣接する「山林不動産無償譲渡」について
中村会長から6月から4カ月間、譲渡を受ける団体を探したが見つからなかった
ので地主と直接会いお断りした報告を了承。
- (7) 共同募金運動への協力について
古泉活動支援局長から説明があり、ゆずり葉まつりに募金箱を置く、これを了承。
- (8) 12/8(日)、第2地区自治会「人権問題研修会」AM10:00開催について
自治会連合会が宝塚市民を広く対象として7月開催した「宝塚市財政学習会」に
続いて12月8日に開催するので「人権問題研修会」を場所：中央公民館、講師：
和久有彦先生で、アトラクション：落語を行う趣旨からの参加を呼び掛けた。
- (9) 「ゆずり葉だより」1/1付発行の新春第94号について
石谷事務局長から、原稿締め切りが11/18である事と、同号の引取りが12/23(日)
となる旨の説明があり、これを了承。

議 案

- (1) 10/20(土)、ゆずりは会「ゆずり葉まつり」について
ゆずり葉まつり（10/20）についての最終確認がなされた。ゆずりは会齋藤会長、
藤本部長より、ゆずり葉まつりのコミュニティに対する依頼事項を、各自治会毎
に確認し、了承された。
- (2) 「地域ごとのまちづくり計画の見直し素案」について
中村実行委員長から資料22～28／29頁で説明を行いその中で地域ごとの
まちづくり計画を素案として、将来像5項目、具体計画37項目に纏めたとの提
案を受け全員によって承認され、これを全住民の広報にゆずり葉だよりで発行日、
平成31年1月1日付で掲載するとの説明があり了承。
- (3) 県民交流広場「地域力の強化事業」備品購入の補助金決定について
中村会長から資料29／29頁について説明があり、資料では総額294,150円に
なっているが、その後備品のセットアップのコード代7,059円が追加となり合計
301,209円となった。この内190,000円を兵庫県から補助金の収入となる。これを
承認。

以上

まちづくり計画見直し 福祉部分について 話し合しましょう！

1. 福祉ネットワーク会議って

他のまち協でも開催されています！！

- ・まちづくり計画の見直しに向けて、地域のいろいろな意見を集約する場に。
 - ・障害当事者や団体へ参加のお声掛けをしている。
 - ・地域の商店（スーパーや金融機関など）の参加で、地域の見守りについて考える。
- 地域のいろいろな立場の方に来ていただき、情報交換、共有する中で、地域の課題を明確化し、解決に向けて協議を積み重ねている。

2. 逆小校区の「地域の良いところ」、「こんな地域にしたい!」、「地域の福祉課題」

ゆずり葉だより第93号にもあるように、今までの話し合いの場でも出たご意見として・・・

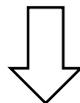
- ① つながりづくり
- ② 移動手段、買い物が困難
- ③ 居場所づくり
- ④ 高齢者の活躍の場
- ⑤ 若い世代も住みやすいまち
- ⑥ 防災活動
- ⑦ 逆小の魅力づくり

- ・住民が主役のまちづくり
- ・住民、専門職、関係機関との連携・協働
- ・今あるものにプラス1

3. 意見交換、情報共有

①今すでに出ている地域の福祉課題や、理想の地域像に対して、みなさんの地域で、行われている、活動、工夫について
(地域の居場所づくり、交流・ふれあいの行事、他・・・)

②他にも、みなさんが普段活動している中で、感じている課題、困りごと、気になっている、不安に思っていることについて



まちづくり計画見直しの福祉部分にも反映していきましょう！！

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第5回）議事概要

日 時 平成30年9月12日（水）14：00～16：00
場 所 市役所3階 3-3会議室
出席者 まちづくり協議会 代表17人、代理3人
市民交流部 上田室長、新城課長
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他
兵庫県河川砂防課 宇都課長、片平
公園河川課 雑賀係長
健康推進課 松岡課長、岸本係長
宝塚市社会福祉協議会 和田課長
関西総合研究所 宮本 他
OM環境計画研究所 大森 他
宝塚NPOセンター 馬越
傍聴 11人

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第4回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第4回）議事概要の確認が行われ、承認された。なお、以下の点について修正があった。

【修正点】

- ・3ページ目「4まちづくり協議会代表者交流会の議事概要の公表について」
⇒「説明を行った」を「説明を行い、次のように決定された」に修正。

2 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて

(1) 取組状況・予定の報告

【西山】

- ・6/24、7/29に策定委員会を実施。
- ・まちづくり計画説明会を実施。
- ・今後は、9月、11月、1月、2月の第4日曜日に策定委員会を予定している。
- ・野上、宝梅、千種地域のまち歩きを10月、11月に予定している。

【宝小】

- ・ワークショップを立ち上げ、3回会議を実施した。
- ・1回目は動機付けでスタートした。「リラックス、知り合う、聞き合う、つぶやく、批判しない」を認識して行っている。
- ・ワークショップの範囲を広げた総合会議のようなものを開催するようにしたい。

【小浜】

- ・毎月第4金曜日に15名程度の方に出席してもらい、今までの資料の見直しはほとんどできた。
- ・10月、11月、12月に、それぞれの地域の皆さんにお集まりいただいて、どういう地域になったらいいかの話を聞きながらまとめていく。
- ・自治会に対しては、お伺いシートで意見を聞く。
- ・地域の業者などに対しても、どういう地域だったらよいかについて意見を聞くために、リストアップをし、誰がどの業者を担当するかまで決まった。アンケートは9月末～10月に配布する。

【中山台】

- ・7/20に第1回目、8/19に第2回目の見直し会議を実施した。
- ・メンバーは総勢24名いるが、過去のまちづくり計画策定を経験されている方は2名のみ。
- ・地域カルテの勉強・確認を行った。高齢化率は高いが、要介護者・要援護者の割合が低いことから、元気で楽しみながら活動している高齢者が多いという点が中山台コミュニティの特徴だと思っている。

- ・平成 32 年の 3 月までに見直しを終え、平成 32 年 5 月の総会で承認をいただくという計画は決まっている。

【ゆずり葉】

- ・まちづくり計画の見直しの意見とテーマの募集について、広報誌を使って全世帯に実施。その情報を基に、議論を行った。
- ・まちづくり計画の基本方針は 5 つある。高齢化率が 45% で一番高いが、介護認定率は 17% で低い。基本方針のトップには「自然を生かした健康長寿のまちづくり」。5 つの基本方針には、実施項目を 44 作っている。これに、新規追加項目として、コミュニティ・スクール、小学校の体育施設開放事業の運用体制の評価などを入れていかないといけないと思っている。
- ・老人クラブ等含め 20 団体の 40 人で開催している福祉ネットワーク会議から新規の提案が出てきた場合は、これもまちづくり計画に入れていこうと思っている。

【光明】

- ・現状のまちづくり計画の振り返りを去年実施したが、もう一度検討委員会の中でまちづくり計画の振り返りを行う。今までやってきたことを一つ一つ丁寧に振り返ってみる。
- ・少しピッチを上げてまちづくり計画の見直しを行っていく。

【売布】

- ・進捗チェックは 7、8 割はできている。
- ・若い人の意見を聞くために、小学校の子ども及びその保護者に対してアンケートを取ろうと考えている。
- ・ネットワーク会議に他の団体にも参加してもらい、意見をもらいたい。年内又は今年度中に一つのを完成させ、改めて広く意見をもらいたいと考えている。

【すえなり】

- ・9/23 に見直し委員会を実施予定。
- ・一般募集を実施したところ、10 名の方に参加してもらうことになった。約 70 名近くの方に声をかけている。
- ・「安全・景観」と「健康・生活」の二つの分科会を設け、参加者の希望を考慮した上、いずれかの分科会に参加してもらう予定。
- ・進捗状況の確認、現状分析、意見聴取などを行い、3 月までには一つの意見をまとめていく予定。
- ・地域全体に前回のまちづくり計画についての認識がないのではないかとと思っている。
- ・チェックシートの 84 項目全てについての理解度チェックを P T A などいろんな分野の方に行っている。その集計に基づいて、検討していきたい。

【すみれ】

- ・8/21 に第 3 回目のプロジェクト会議を実施。アンケートについて、コミュニティすみれに合うアンケート項目を作成する必要があるのではないかという話になった。アンケート項目を作成するためのワークを 10/12、第 4 回目のプロジェクト会議を 10/19 にすることに決定した。年内にアンケートを出し、年明けに回収する予定。

【安倉】

- ・アンケート調査について、もう一度、細かく設問を設定した上で、自治会や事業所等に実施しようと考えている。どういうまちが一番住みよいですかというような設問を入れる。違った方向からアンケートを取っていけばいろんな意見が出てくると思う。その意見の中で良い方向性が見つかればと考えている。

【山本山手】

- ・年内は各地域の課題の抽出を行う。自治会で地区の課題を抽出してもらって、2 か月に 1 回行っている副代表者会議で経過報告をしている。また、ホームページを立ち上げ、そこに地域の課題をどんどん出してもらうことを考えている。インターネットを使えない方のために、年内の土曜日・日曜日の昼間、平日の夜間に全住民が参加できる意見交換会を設けることを考えている。
- ・これら意見などの情報を集め、検討委員会又は実行委員会でまとめて、それを運営委員会で展開していくという形になると思う。
- ・実行委員会の委員は 10 月の運営委員会で広く委員の募集を行う。参加したい人が参加

する形で実施していく予定。

【一小】

- ・評議委員会の役員関係の方にアンケートを取りたいということで、7月に評議委員会を開催し、まちづくり計画見直しガイドラインを活用し、まちづくり計画見直しについて説明を行った。
- ・子どもたちのアンケートを取りたいということで、小学校5年生を対象とし、9月に学校と相談してアンケートを取る。また、中学校の生徒会と座談会を開きたいと考えている。
- ・アンケートのまとめを11月末くらいにできればと考えている。

【ひばり】

- ・まちづくりのテーマについて各委員10件ずつ意見を持ち寄り、防災・防犯、環境問題、イベントという3つの分科会に分けた。
- ・次回10/8の会議の前に、各分科会ごとに打ち合わせをするようお願いしている。
- ・コミュニティで内容がまとまった段階で自治会にも意見を求める予定。

【長尾】

- ・第1回は8/6、第2回は8/21に実施。
- ・各自治会、老人会、婦人会、子ども会などに、「あなたのまち気になること、困っていることは何ですか」という問いで、自然、都市、ひと、歴史、産業、防災防犯の6つの項目のアンケートを出す。300回答を目処にしている。9月末にアンケートを集め、10月の検討委員会で集計の中間発表をし、11月にまとめる予定。
- ・来年度の1月～3月にかけて具体的な取組内容の検討、5月には計画案の公開・意見聴取予定。

【高司】

- ・子ども、高齢者の意見を聞くため、アンケート案を2つ作成した。
- ・数年前から中津浜線の歩道がせまいのをどうにかしてほしいと要望していた件が進むこととなった。
- ・その他の点についても、アンケートの意見を基にまちづくり計画見直しを進めていく。

【仁川】

- ・活動委員会のメンバーである35名の中からいろんな意見を聞き、10月の終わりから11月にかけて案をまとめていき、年内に結論を出すことを目処に進めている。

【良元】

- ・人も予算も限られた時代になることは間違いない。
- ・地域資源である福祉施設やスーパー・コンビニなどにメンバーで手分けして当たっていくことで、新たな関係性を築き、可能性を引き出していく予定。この結果から材料を探し、次の10年について考えていく。

【末広】

- ・今までの計画の位置付けの再確認を行った。
- ・次のまちづくり計画では何をしなければならないかを整理した。
- ・今後の方針として、アンケートをすることとなり、その内容について検討を行った。何をやりたいか、何に困っているかなど、大きなことをアンケート項目とし、自治会などの様々な団体に対して実施することとなった。アンケートの方法としては、紙媒体とインターネットの2通りで実施する。9月末を期限として出すことを決めた。障がい者の方などを対象とすることについても別途考えていく。

【美座】

- ・毎月定例の役員会がある際、別途時間を設け、各部長を集めて検討会を実施している。
- ・検討会とは別に、10月から年度内に3回程度、各団体の代表に集まってもらって、ネットワーク会議を行い、概略をまとめていきたいと考えている。
- ・災害の問題を特にまとめないといけないと考えている。
- ・美座地域の防災について、市の総合防災課と話し合う予定。

【西谷】

- ・現在の計画については7月末に進捗チェックは終了。

- ・見直し後の計画については、メンバーが変わっても分かるようなものにしたい。
- ・現在の市の総合計画の内容や今後のまちづくり計画をどのように進めていくのかの勉強会を9/19に実施する。
- ・3年前から西谷のビジョンづくりに取り組んできた。その際、小学生から高齢者まで一人ずつにアンケートを実施し、回答率93%であった。したがって、新たにアンケート調査を実施することはない。住民の思いを踏まえた上で、新たな10年間のまちづくり計画の作成を行う。

【その他意見】

- ・必要なデータについては、早急にもらえるよう市にお願いしたい。
 - ・毎月、まちづくり計画見直し状況に係る議題が挙がっているが、毎月は必要ないのではないか。
 - ・皆が報告した内容を行政でどのようにまとめられているのか。
- ⇒市：代表者交流会で報告いただいた進捗状況については議事概要に記載しているため、議事概要をもって、進捗状況の報告とさせていただきます。

3 土砂災害特別警戒区域等指定のための現地調査について

兵庫県河川砂防課、市公園河川課より、配布資料に基づき、同現地調査について説明を行った。

【意見の概要】

- ・危険区域で指定されたら、土地の価格が下がるなど言われているが、こういった意見に対し、付度なしに指定を行うのか。
- ⇒県：そういった付度はしない。
- ・市の指定避難所である長尾台小学校がレッド区域だが、市と県はどう考えているのか。
- ⇒市：対処を検討中であるが、具体的にどうするという点はまだ決まっていない。

4 健康づくり推進員制度について

健康推進課より、配布資料に基づき、同制度について説明を行った。

5 共同募金運動へのご協力のお願について

宝塚市社会福祉協議会より、配布資料に基づき、同ご協力のお願について説明を行った。

6 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(8)について、資料を用いるなどして周知した。

- (1)まちづくり協議会代表者の個人情報の使用及び第三者への提供について
- (2)FM宝塚出演予定
 - 平成30年9月17日（月・祝）宝塚市山本山手地区まちづくり協議会
 - 平成30年10月2日（火）宝塚市西谷地区まちづくり協議会
 - 平成30年10月24日（水）中山台コミュニティ
- (3)市民と市長のテーブルトークについて
- (4)広報たからづか8月号について
- (5)平成31年度一般コミュニティ助成事業の募集について
- (6)ポータルサイトへの宝塚景観まちあるきマップの追加について
- (7)私の勧める宝塚の景観ビューポイント募集（きずなづくり推進事業補助金採択事業）
- (8)講座の案内について（宝塚NPOセンター）

7 その他

コミュニティ末広より、以下の内容について周知した。

- ・宝塚23万人の防災キャンプについて

8 今後の日程

次回日時：平成30年10月10日（水）14：00～16：00

場 所：市役所3階 3-3会議室

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第6回）議事概要

日 時 平成30年10月10日（水）14:00～16:00

場 所 市役所3階 3-3会議室

出席者 まちづくり協議会 代表19人、代理1人
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他
スポーツ振興課 中村係長
関西総合研究所 宮本 他
OM環境計画研究所 大森 他
宝塚NPOセンター 馬越
傍聴6人

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第5回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第5回）議事概要の確認が行われ、承認された。なお、以下の点について修正があった。

【修正点】

- ・4ページ12行目
⇒「現在の市の総合計画及びまちづくり計画づくりを」を「現在の市の総合計画の内容や今後のまちづくり計画を」に修正。
- ・4ページ16行目
⇒「住民の思いを押さえた上で、10年間のまちづくり計画」を「住民の思いを踏まえた上で、新たな10年間のまちづくり計画」に修正。

2 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて

(1) 取組状況・予定の報告

【すみれ】

- ・前回から進捗変化なし。
- ・アンケートで具体的な目標が挙がってくると思うが、安心安全などの漠然とした目標をどのようにまとめていくかという点が難しい。
- ・エイジフレンドリーシティの講演会で参考になることがあった。

【安倉】

- ・前回から進捗変化なし。
- ・10/21のふれあい運動会以降に、各住民に対するアンケート、事業者向けのアンケートについて計画していく予定。

【西山】

- ・9/23に第3回策定委員会を実施。
- ・今後、まち歩きを予定している。10/13、10/28、11/10の3回に分けて、野上、宝梅、千種地域を歩く。その結果を踏まえて、第4回の策定委員会を11/25に予定しており、まち歩きの結果報告等を行う予定。

【宝小】

- ・会議は第4土曜日。第1回は動機づけ、第2・3回は課題を中心に、第4回に入ってビジョンというのに少し入った。今後は、進めながらどういうふうに展開させていくかを考えたい。

【小浜】

- ・人権文化センターや小浜小学校などに行き、小浜小学校区の良いところ、気になっているところなど色々な視点から皆様の話を聞いて集約する予定。参加者は50人くらいを予定している。
- ・小浜小学校の5・6年生に配布するアンケートが完成し、10月中に配布する予定。
- ・保護者用・地域の皆さん用・事業所用のアンケートも完成し、誰がどこを担当するかまで決まっている。

【すえなり】

- ・9/23に第1回の見直し委員会を実施。第一分科会、第二分科会に分ける予定。
- ・まちづくり基本条例についても説明を実施。まちづくり基本条例を考えながら地域の基本目標も作成していかなければならない。
- ・10/20の地域福祉ネットワーク会議において、福祉部分の計画につながるような議論をする予定。

【中山台】

- ・9/23に第3回の見直し会議を実施。アンケートの方法や対象者をどうするかという点に関する意見が多く出た。10/15までに、それぞれの担当者からアンケートの方法案を出してもらった上、集約し、10/28に決めていく。アンケートの取り方は非常に大事だと考えているので、アンケートに関する部分で時間がだいぶ取られると思う。

【長尾】

- ・10/9現在でアンケートの回収は、300件中205件で約68%の回収率。10月中にアンケート結果をまとめて、11月から検討に入っていく。

【一小】

- ・評議委員会で配布したアンケートを回収して、内容を整理した。
- ・各自治会の現在の活動内容・行事内容のデータもまとまっている。
- ・基本方針を考え、話し合いを始めたい。
- ・12/16に光が丘中学校の生徒会と座談会を行う。

【山本山手】

- ・今年度は、課題の抽出を中心に行っていく予定。
- ・関西総研の協力を得てアンケートを作成した。11/3に配布予定。配布方法や回収方法については今週末検討予定。スマートフォンでも手軽に回答できるようにしている。
- ・まちづくり計画実行委員会を立ち上げ、今週末に第2回の会合を開く、今後は実行委員会を中心に活動し、今年度抽出された課題の精査であるとか過去の課題を並行して整理しながら進めていきたい。

【売布】

- ・まちづくり計画のアンケート調査をお願いした。小学校4～6年生及びその保護者に配布済み。今週中に回収できる予定。
- ・自治会長会議を11/24に実施予定。懇談会という形で設定して、出た意見をまちづくり計画に盛り込んでいきたい。

【末広】

- ・アンケート（回答期限9月末日）を実施した。配布部数は210部。配布対象は、PTA、子ども会、自治会などの関連団体。現時点の回収率は40%。このアンケート結果を踏まえて、今後の方向性を決めたい。

【西谷】

- ・全住民の意識調査に基づいた中長期の将来ビジョンがほぼ完成した。ビジョンには、構想や具体的な政策目標・構造方針なども列挙しているので、これをまちづくり計画に落としとしていく。また、ビジョンづくりの中で検討できていない福祉や教育の分野などもフォローする形で、5年間のまちづくり計画に落としとしていく。この作業を今月から進めていく。

【光明】

- ・前回から進捗変化なし。

【高司】

- ・高司小学校の6年生から、先生を通じて、地域に対する思いを話したいという依頼があったため、聞く形かアンケートを通じてなのかなどどういう形になるかはまだ決まっていないが、意見を出してもらおう予定。
- ・10/22に、福岡から高司まち協に視察があるため、他地域から見た意見を聞きたいと考えている。

【仁川】

- ・毎月1回委員会を開いている。6つの部会のうち、5つの部会はアンケート調査が出そろっている。今年度中に集約し、ある程度の結論を出していきたいと思っている。

【良元】

- ・各部会活動の課題の洗い出しをやっている。10年先を見据えると同じマンパワーで今のような活動ができるかはまったくの不透明。減らしていくところ、増やしていくところ、その重点を考えていかないといけない。こういったことを含めて、どう10年先を見ていくか及び課題をどう整理していくかということを現在やっている。

【ひばり】

- ・第2回の全体の計画会を実施。
- ・インフラ、防犯・防災、イベントという3つの分科会に分けていたが、新しく福祉も加えることとなった。
- ・既存の3つの分科会でそれぞれ議論を行ってもらっており、それを基に報告を受けている。

【ゆずり葉】

- ・まちづくり計画のチェックは先月で完了。
- ・意見集約を重ねて計画の見直し素案を作成した。これを基に10/7に福祉ネットワーク会議を開催すると同時にまちづくり計画見直し会議を行った。地域カルテとの整合性の確認と、討議で出た新しい追加項目を入れて、次回はまちづくり計画の原案にしたいと考えている。
- ・将来像の目標は5項目で具体的計画は40案件となった。

【美座】

- ・防災が大きなテーマ。今年災害が頻発したため、市の総合防災課にも来てもらい、9/21に緊急の防災対策委員会を行った。将来に向けた問題があるので、課題や何に取り組むかを整理して今後まとめていきたい。
- ・アンケートはしていかないといけないと考えている。見守り、環境の問題について、自治会や老人クラブ、事業所など各団体ごとにアンケートをしたらどうかという提案をいただいた。子育て世代の方についても、まちづくり協議会がどういうものかご存じない方もいるため、その辺りの説明も加え、「何を期待しますか」などのアンケートを取っていききたい。また、小中学生にも子どもなりの意見を聞いてみたらどうかと考えている。加えて、高齢者向けのアンケートを取り、これらを集約した形でまとめていきたい。
- ・国の施策の関係で地域包括支援システムというのが今動いてきているが、行政が財政逼迫しているため、本来行政がやるべきことを地域に押し付けてくるんじゃないかという危惧もある。これからのまち協の活動として注意する必要があると考えている。

(2) 意見交換

意見交換の内容については以下のとおり。

- ・まちづくり計画見直し委員会を開いた際、ある方から、現行のまちづくり計画は結果的に何もできていないんじゃないか、一生懸命作った割には予算もつかないしという意見があった。他のまち協でもこのような意見は出ていないか。これが一つの地域の壁になっており、そのため、私は委員はやらないと言う人もいる。一生懸命汗水たらして時間を割いて作ったけれども結局実現できていないんじゃないかという意見がある。地域自治推進担当次長が地域の会議で市の心構えというものが出てくるのか。地域自治推進担当次長から市のメッセージをちゃんと伝えていかなければいけない。庁内で詰めていく

中において、市としても、真剣に取り組むところについては予算付けしますよというメッセージが担当者から出ればちょっと変わってくるのではないかと思う。

- ・計画を作ること以上に実行が大事。行政が平成20年にちゃんとしたまちづくり計画進行管理の仕組みというのを作っている。それを使われていないということだと思う。今度のまちづくり計画も、計画を作ることだけでなく実行していくことも考えながらやっ
ていかないといけない。私たちのまち協はそういう仕組みを使ってやっていた。
- ・まちづくり協議会側がまちづくり計画の進捗管理をやるというのも一つあるが、元々は、第6次総合計画に載せるということから、行政が今回のまちづくり計画を見直すというテーマを新たに作った。よって、過去の資料があるのであれば、行政がそれをベースに
進捗管理を進めていけば我々も同じ土俵で行動ができるのではないかと思う。行政の方
からもそういう話が出ていない。こういう大きなテーマを固めたら、行政がリーダーシ
ップを取ったり、色々な形でアドバイスするなどしてもらわないといけない。行政が会
議に参加した後、持ち帰ってどう処理されているのか。フィードバックされない。行政
が発信した内容についても、進捗や結果等の報告がない。行政がアドバイスをしないと、
こちらは一生懸命やっても不安感などの気持ちが常についてまわる。
- ・今ほとんどの計画を作っているわけなので、進捗管理をするという意見が出たと
ころで、行政なり我々がやらなければならないと提案していけばよい。
- ・地域に対して担当次長から市側のメッセージをきちっと発してほしい。地域の者が言っ
ても信用できませんとなる。市も市の基本姿勢を各まち協の委員会の中で出してもら
うと、住民も「今回は違うんやな」という意気込みになるんじゃないかなと思う。一度失
敗しているので、現段階の入口のところで、地域の一部でやっても無駄だと言う人が
いる。この人たちを前向きにしたい。
- ・一度失敗したというところが良くわからない。まちづくり協議会で計画を作っても、各
自治会又はまち協の各団体で実行してきているところもずいぶんあると思う。
- ・大きく分けると、地域住民が主体となってやるところと、住民と行政が半々でやる
ところと、地域の要望として行政側がやるところがあるが、行政側がからんでいる部分
が進んでいない。
- ・ハードの面は行政が主になってやっていただけたらと思うが、細かな住民本意のまち
づくりという基本に何ができるかを考えていかないといけないと思う。行政がしてく
れないから我々は何もしなくていいんだという考えではなく、地域の皆さんでまちをど
ういうふうにすれば活性化していくか、住民のコミュニケーションがうまくいくかな
どの基本を重視していきたい。
- ・行政といえどもそれぞれの地域に来ている職員はそれぞれ違う人である。市の姿
勢がそれぞれの職員を通じて同じ状態で各地域のまち協に伝わってこないと思
う。一貫して同じ姿勢ではっきり示してもらえたら、皆が同じ状態で進めてい
けると思う。それぞれの職員によって違くと、ずっと曖昧なところできてしま
う。受け止め方も変わってしまう。
- ・市が指導するという事は避けた方が良く思っている。市からの口出しはあまりし
ない方が良く。各まち協の主体性があり、地域の特性もあってやり方が違うのも
当たり前である。大きな理念はあってよいが、細かなやり方まで市がああしな
さい、こうしなさいというのはちょっとおかしいのではないかと思う。
- ・まちづくり計画そのものは、無理なく伝わっていくのが大きな柱ではないかと思
う。12,3年前作ったときも、例えば、犬猫の去勢の問題をやっている人たちが
いることを皆に伝えようとか、核家族化の影響で近所の挨拶運動や声掛けを
することがおろそかになっていることは問題だからこの運動などを心新たに頑
張ろうとか、省エネをみんなで考えようなど無理なく自分たちでできることを
する。それから道路など行政にやってもらわないといけないことでも、どう
いった道路を作ってほしいなどの意見を入れた形でやっっていく感じかな
と思う。行政に期待してはいけないが、期待するところは期待し、きちん
と伝えていくためのネタになるのではないかと思う。そういうものをできるだけ
地域の中で共有して、できるだけまとめていく感じかなと思う。

- ・他のまちづくり協議会で、外国人や高校生・大学生の意見を聞くところはあるか。
- ・コミュニティに外国籍の人が70数名いる。とある福祉施設では、働きに来る外国人が増えていると聞いている。外国人に対してアンケートを取る方法も考えられるが、コミュニティは過渡期にあるのではないかと考えている。この1,2年で新規の家族が新しく入ってくる可能性が増えている。ある地域では65歳以上はざっと50%。その代わり、数年前にできたマンション群は若い方ばかりである。そういう方がコミュニティの中の小学校に入って、少子高齢化の中で学校が成り立っている。今、時代が変わり目に来ているのではないかと考えていて、住めないと思った高齢者は下に降りていかれるかもしれない。10年先を読むと、構成比は現時点から変わってくるため、アンケートの取り方がいかに大事かという点について検討している。

⇒市：計画見直しについては、地域主体で進めていただきたいというのが基本的な市のスタンスである。市はできるだけ効果的にサポートさせていただきたい。そのために地域自治推進担当次長が各地域に出向かせていただいているというように受け取っていただきたい。各担当次長の認識については、個々で若干の違いが出てくる場所はあるかもしれないが、基本的な認識については、最初に研修を行って統一を図っている。今の時点では、見直しに向けて地域の意見・課題をいかに集約するかという話が地域での主な議論になっており、今の時点での担当次長の出番はそんなに多くないと思う。ただ、今後、具体的な取組などを検討していくにあたっては、協働とする部分とか市が主になってする部分のところでかなり議論を重ねないといけないなと思っている。計画の実現性の部分の議論の段階になると、担当次長との意見交換は密になってくると思う。

(3) アンケート様式の提供について（依頼）

座長より、次回の代表者交流会で情報共有するため、各まちづくり協議会に対し、地域ごとのまちづくり計画見直しに関するアンケート様式の提供について、配布資料に基づき、依頼を行った。

3 まちづくり協議会代表者交流会（ワークショップ）について

市民協働推進課より、配布資料に基づき、同交流会（ワークショップ）の参加に係る回答方法について説明を行った。

4 第14回宝塚ハーフマラソン大会の従事ボランティアについて（依頼）

スポーツ振興課より、配布資料に基づき、同ボランティアについて依頼を行った。

5 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(5)について、資料を用いるなどして周知した。

- (1) まちづくり協議会代表者の個人情報の第三者への提供について
- (2) FM宝塚出演予定
平成30年10月24日（水）中山台コミュニティ
- (3) 市民と市長のテーブルトークについて
- (4) 宝塚市手話言語講演会について
- (5) 市民活動促進支援事業について

6 その他

市民協働推進課より、地域ごとのまちづくり計画見直しに係るアンケート様式の提供方法について、確認を行った。

7 今後の日程

次回日時：平成30年11月14日（水）18：30～20：30

場 所：市役所3階 特別会議室

平成30年度 第7回まちづくり協議会代表者交流会

日時：平成30年（2018年）11月14日（水）18時30分～20時30分

場所：市役所3階 特別会議室

1. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第6回）議事概要の確認
(5分)
2. 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて（70分）
 - (1)代表者の皆様から、計画の見直し組織の形態、取組状況・予定について、ご報告していただきます（1人×2分）
 - (2)意見交換（アンケート様式についてなど）（30分）
3. まちづくり協議会代表者交流会（ワークショップ）の開催について（市民協働推進課）
(5分)
4. 共同募金運動へのご協力をお願いについて（社会福祉協議会）（5分）
5. 市民協働推進課からのお知らせ（15分）
 - (1)市民と市長のテーブルトークについて
 - (2)市民活動促進支援事業について（宝塚NPOセンター）
 - ①平成30年度補助金・助成金事業一覧について
 - ②その他
 - (3)宝同協だより「芽生え」について
6. その他
7. 今後の日程
 - 第8回日時（ワークショップ）：平成30年12月12日（水）14：00～16：00
場 所：市役所3階 大会議室
 - 第9回日時：平成31年1月9日（水）14：00～16：00
場 所：市役所3階 3-3会議室

平成30年11月5日

宝塚市第2地区自治会連合会
単位自治会 会長 各位

宝塚市第2地区自治会連合会
会長 中村 一雄

「人権問題に関する自治会長研修会」のご案内

秋冷の候、自治会長各位には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について毎年度実施しています人権問題に関する「単位自治会長研修会」を下記の通り開催いたします。

何かとお忙しい時期とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願いいたします。

尚、アトラクションとして落語家「てんご堂 雅落(てんごどう がらく)」さんに「人がいれば笑いがある」を楽しく語って頂きますので、自治会員にも広くお誘いのうえ多数のご参加をお待ちしています。

記

(1) 日 時：平成30年12月8日(土) 午前 10時00分～11時50分

(2) 場 所：宝塚市立中央公民館 ホール

(3) 内 容：

① 落 語：**てんご堂 雅落** (55歳)

本名は久志 則行さん

師匠は笑福亭鶴瓶

所属 松竹芸能 (S63～H28年)

フリー (H28～現在)



川西市、西宮市、京都市
などを経て現在、宝塚
市第一小学校区在住。

② 講 演：**和久 有彦先生**でテーマは、人権「人とのつながりで楽しいひとときを」元小学校長、県教員学校支援チーム相談員である。現在宝塚市人権・同和教育協議会会長、宝塚市人権審議会会長、宝塚市人権推進委員会委員長、保護司として日々人権教育啓発に精力的に取り組んでおり、学校教育をはじめ社会教育においても、数多く指導助言されている。著書に「校庭からの贈り物」、「子供は学校で育つ」、「若い先生たちへ160の言葉」等がある。

以 上